

広報文芸

自由律俳句

おおくさの会編集室選

つんとくる若菜ふり振る春の味 茶屋 木山 輝子
 ぼたん咲きそろい我が庭にぎやかに 神戸上 柴田 篤子
 黄砂の山にほんのりと少し遅れの山桜 茶屋 小林 道子
 頂いたタラの芽で満腹の天ぶら三味 茶屋 藤原 寿郎
 兎の目のような豌豆の花が四月の半ば 生山 渡辺 圭子
 入ってみたい萌黄の林春が招く 茶屋 長谷川由美子
 露のとう香り豊かに春を告げ 宝谷 長尾 智恵

俳句

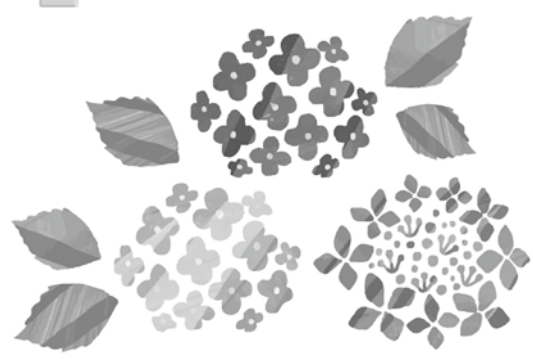
動噴の響き長閑に谷渡る 萩原 岡本 健三
 くちなしの香り仄かに風にのり 宮内 木村萬佐子
 回覧板まわす道傍著我の花 宮内 田邊登志美
 此の道を抜ける菜しみ迎春花 宮内 船越 裕子
 枝垂桜遠き日の旅友偲び 矢戸 和田 淑子
 人生や桜の花びら両の手に 神戸上 笹間 玲子
 妹の忌に友情届くや花いかだ 下石見 矢田貝 元
 若苗が早く植えてと背伸びする 花口 新田 祐士
 蛙たち田んぼに集いて大合唱 花口 新田 祐士

短歌

我が輩はただ這い回りおるだけで 鼻つまみさるあわれカメムシ
 毎朝の掃除洗濯有難き 口では云えず黙して感謝
 感性と経験則を兼ねそなえ 運を引寄せバランス磨く
 梅雨空に晴間見つけしチャンス得り 一人でも歩くノルディックウォーク
 紫陽花の雨に濡れにしてらてらと ここ一番の青葉光るる

湯河 山田 司郎
 下石見 浅川 三郎
 下石見 浅川 三郎
 上石見 福田 輝之
 上石見 福田 輝之
 上石見 福田 輝之

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介します。
 個人での投稿もできますので、お気軽にお送りください。



「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

6月の日程

2日(日)・16日(日)14時〜15時30分
 場所 文化センター第3会議室

【問合せ】

石田由香里(08030529933)
 浅野 博美(09097341887)

「かたつむり」



左手にグーにして右手は人差し指と中指を伸ばしてピースの形にして左手のグーの下から二ヨキツと出す(かたつむりのイメージ)

「傘」



両手をグーにして少し斜めにして上下にくっつけたら右手だけスツと上に上げる。

「紫陽花」



少し指を曲げた左手のひらの上で指先を上に向けてのせた右手をパッパッと開閉させながら水平方向に回す。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

